

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1)		
ナンバリングコード	S20329	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル 臨床検査学
単位数	1	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 臨床検査学コース 選択: 診療放射線学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S008951	クラス名	-
担当教員名	中川 幹子、佐野 成雄		
履修上の注意、履修条件	臨床検査学コースの学生は必ず履修し、全ての授業に出席すること。 原則として指定した教科書に準じて授業を行うが、補足のプリントを配布する。 難解な内容のため、必ず予習しておくこと(教科書の指定ページを読んでおく)。 授業の3分の2以上に出席していない者には、期末試験の受験資格を与えない。 課題(レポート、小テストなど)は指示された方法で期限内に提出すること。期限を過ぎたら受理しない。		
教科書	最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 (医歯薬出版株式会社、2023)		
参考文献及び指定図書	病気がみえるvol.2循環器 第5版(MEDIC MEDIA、2021) スパイロメトリーの基本と秘訣(田口善夫監修、柴田正慶著、克誠堂出版) 臨床検査技師国家試験問題集(医歯薬出版)		
関連科目	臨床生理検査学2		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	・標準12誘導心電図の原理と記録方法を説明できる。 ・正常の心電図波形を理解し、異常波形を認識できる。 ・呼吸の生理と呼吸機能検査の基本的な手技・検査方法を説明でき、記録波形の正常と異常を認識できる。	60点	30点	10点
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
・原則として、毎回の授業終了前に小テストを実施する。小テストの解説は次の授業中に行う。 ・実際の心電図や呼吸機能検査データを供覧後、グループに分かれてディスカッションし、読み取れた所見を発表する。授業中に解説する。 ・期末試験を1回実施する。

○基本情報	
授業の目的	生理学検査を行う上に知っておくべき重要な内容の授業である。 まず、循環生理と心臓の電気生理の基礎を学んだ上で、心電図の原理を理解し、標準12誘導心電図の記録方法および誘導について理解する。 心電図の各波形が表す生理的意義を理解し、正常と異常波形を判別する。 運動負荷心電図、ホルター心電図などのその他の心電図検査について知る。 心音図と脈波検査の基礎を知る。 呼吸生理を学び、呼吸機能検査の原理と方法を理解する。 呼吸機能検査の記録波形の正常と異常パターンを判別する。 血液ガス分析と酸塩基平衡の原理を理解する。
授業の概要	本科目では、循環および呼吸機能の原理と検査法を学修する。それぞれの領域において、心電図、心音図、ABI/PWV(足関節上腕血圧比/脈波伝播速度)、呼吸機能検査、血液ガス分析、睡眠時無呼吸検査の測定原理・検査法などの基礎的事項とともに、検査結果の臨床的意義、疾患の診断について具体的な理解を深める。また、それぞれの検査に必要な技能・態度について学修する。 (オムニバス方式/全8回) (中川幹子/4回) 心電図検査、心音図検査、脈波検査 (佐野成雄/4回) 呼吸機能検査
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「グループワーク」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	中川幹子(医師): 心電図の記録、判読、循環器疾患の診療 佐野成雄(臨床検査技師): 心電図、心音図、ABI/PWV、呼吸機能検査、血液ガス分析、終夜睡眠ポリグラフィーの記録、判読

○その他
授業内容や学修方法に関する質問は、授業中や授業終了後に講義室で受け付ける。

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1) 中川 幹子、佐野 成雄	授業コード	S008951
<b>学修内容</b>				
<b>1. 心電図検査1(中川)</b> 授業のガイダンス、循環生理、心電図検査の基本、心電図波形の成り立ち				
予習	循環生理、心電図検査の基本、心電図波形の成り立ちについて予習する。教科書p1～19を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>2. 心電図検査2(中川)</b> 心電計・誘導法、心電図検査の実際、正常心電図 グループに分かれて、実際の心電図の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	心電計・誘導法、心電図検査の実際、正常心電図について予習する。教科書p19～27を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>3. 心電図検査3(中川)</b> 異常心電図(不整脈、心房負荷・心室肥大、虚血性変化等) グループに分かれて、実際の心電図の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	異常心電図について予習する。教科書p27～45を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>4. 心電図検査4(中川)</b> 運動負荷心電図・ホルター心電図・その他の心電図検査、心音図、脈波検査				
予習	運動負荷心電図・ホルター心電図、心音図、脈波検査について予習する。教科書p45～76を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>5. 呼吸機能検査1(佐野)</b> 呼吸生理の基礎と呼吸機能検査機器				
予習	呼吸生理の基礎について予習する。教科書p169～176を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>6. 呼吸機能検査2(佐野)</b> 換気機能検査 グループに分かれて、実際のスパイロメトリの判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	呼吸の生理と機能検査機器について予習する。教科書p177～197を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>7. 呼吸機能検査3(佐野)</b> 肺胞機能検査 グループに分かれて、実際のクロージングボリューム曲線・肺拡散能力の判読練習を行い、所見を発表する。				
予習	肺胞機能検査について予習する。教科書p197～207を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間
<b>8. 呼吸機能検査4(佐野)</b> 血液ガス(血液ガス分析と酸塩基平衡)、睡眠時無呼吸検査				
予習	血液ガス、睡眠時無呼吸検査について予習する。教科書p207～229を読んでおくこと。			約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	臨床生理検査学1 (Clinical Physiology 1) 中川 幹子、佐野 成雄	授業コード	S008951
<b>学修内容</b>				
<b>9. 期末試験</b> 学修した内容について筆記試験を実施する。				
予習				
復習				
<b>10.</b>				
予習				
復習				
<b>11.</b>				
予習				
復習				
<b>12.</b>				
予習				
復習				
<b>13.</b>				
予習				
復習				
<b>14.</b>				
予習				
復習				
<b>15.</b>				
予習				
復習				
<b>16.</b>				
予習				
復習				